

はぎのだい

学校だより 3月号

平成27年3月2日(月)
津幡町立萩野台小学校



校長 橋田 宏幸

1年の節目を迎えました！ ～子どもたちの成長と教育活動～

3学期もあと1ヶ月となりました。あっという間の1年間でした。卒業や進級を前に、1年を振り返って、子どもたちが「頑張ったこと(努力)」「できるようになったこと(成長)」でどんなことがありますか。

萩野台小学校では、教育活動を1年1年の積み重ねととらえ、「どんなことを」「どのようにして働きかけて」「どんな成果を出すか」という目標や具体的な手立てを持って取り組んできました。子どもたちの学力・心力・体力を高めること、保護者、地域の方とは、子どもを良くしたいという共通な願いを実現することに重点をおいて教育活動を展開してきました。

今は、子どもたちの成長と教育活動についてどうであったか、学年の節目の時期に振り返り、次の節目に向かっていく時です。「どこまでできているか」を把握し、「どこから始めるか」というスタート地点の確認です。上方修正で目標レベルを上げるのか、下方修正で目標レベルを見直すのかを見極め、その積み重ねからスタートです。

しかし、日々の学校生活において、子どもたちに「手応え」を感じています。落ち着いた授業の様子、物事に積極的に取り組む姿勢などがその証です。職員室では、それをたたえる賞賛の拍手が幾度も鳴り響きました。「手応えから確信へ」子どもたち・学校は、成長し続けてくれると思います。

今後も、教育活動へ深いご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

3月の行事予定

2日(月)	全校集会 6限 学納金口座振替日 発育測定(高) 安全点検日
3日(火)	統一漢字テスト 発育測定(中) 掃除場所交替 刈安小との交流 4年
4日(水)	発育測定(低) PCサポート
5日(木)	統一計算テスト ランチタイムコンサート 太鼓練習 6年(5・6限)
6日(金)	卒業式練習(在校生) 3限
9日(月)	委員会 6限 卒業式練習(在校生 3限) 太鼓朝練習(6年)～17日 ボラティア委員会ふいらーじゅ訪問
11日(水)	筆箱点検の日 クラブ活動 6限
12日(木)	図書ボランティア ぐんぐん教室
13日(金)	卒業式練習(全校) 3限 ランチタイムお話し会 大掃除
14日(土)	PTA引き継ぎ会・懇親会
16日(月)	卒業式練習(全校) 1限 ミニバス遠足 2・3限 (新幹線の見える丘公園)
17日(火)	卒業式予行(全体) 2・3限 バイク給食
18日(水)	卒業式前日準備(4・5年) 5・6限 1～3年 4限まで
19日(木)	卒業式9:30 給食なし
20日(金)	自教室清掃(～24日)
23日(月)	いしかわ読書の日
24日(火)	修了式 給食終了 大掃除 机・椅子移動(4・5年) 5限
25日(水)	春季休業(4月5日まで)
27日(金)	離任式8:30 (1～5年通常通り8:10登校・6年8:15登校)

* 4月6日(月) 新任式・始業式 1限 (新2～6年 8:10登校) 入学式 9:30

◎授業参観・すこやか集会(学校保健委員会)・学級懇談会への参加お礼

2月6日の参観日には、たくさんの保護者の皆様にお集まりいただきまして、本当にありがとうございました。

「すこやか集会(学校保健委員会)」は、「歯のアンケート結果」にスポットを当てて実施しました。また、藪歯科衛生士をお迎えし、日頃の歯の大切さについて「自分の歯は自分で守ろう」を演題に(歯磨きについて)などのお話をいただきました。是非、保護者の皆様もお子様と今後の生活習慣に生かしていただきたく思います。すこやか集会後の学級懇談会もありがとうございました。

◎授業参観アンケートの結果について

保護者の皆様に授業参観の様子について「参観アンケート」のご記入をお願いしたところ、31通のご提出をいただきました。ご協力本当にありがとうございました。アンケートの集約結果とお気づきになったことを書いていただいたものを取りまとめて記載させていただきました。

<2/6授業参観アンケート集計>

評価観点	そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思 わない	無記入
1 子どもたちは、先生や友だちの話を聞いている。	18人	13人	0	0	0
2 子どもたちは、課題を解決しようと取り組んでいた。	21人	10人	0	0	0
3 先生は分かりやすい授業展開を行っている。	20人	11人	0	0	0
4 教室等の学習環境が整っている。	20人	11人	0	0	0
5 子どもたちは、来校者にあいさつをしている。	9人	18人	2人	0	2人

保護者の皆様のご意見

- とても楽しそうに、学んでいたのが良かったです。
- 先生と生徒の意思がちゃんとキャッチボールされているよう思われました。いつも寄り添っていただきありがとうございます。
- 自分が小学校の頃にこんなふうに先生から教えてもらっていたら、体育がもっと楽しくなっただろうと思うような授業でした。ありがとうございます。
- 四年生のクラスが前回とは全く違いみんなきちんと座り、先生の話ちゃんと聞いていたので、今日だけでなく今後も継続していただけたらと思います。ありがとうございました。よろしくをお願いします。

お知らせとお願い

◎3月の生活目標 「1年間をふりかえろう」

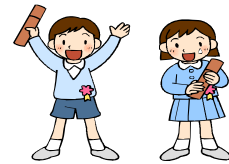
児童会の放送委員会が中心となって、生活目標の実現に向けての取り組みを具体的に提起していきます。また、この生活目標を受けて各学級で4月から2月までの取り組みを振り返り目標の達成状況の良くないところを、もう一度「めあて」に決めて重点的に取り組みます。

◎卒業式 3月19日(木) 午前9時30分 体育館

この日、いよいよ6年生が卒業します。

1~5年生の在校生全員が式に参列します。

当日は、午前中で下校となります。給食はありませんのでよろしくお願い致します。



◎離任式 3月27日(金) 午前8時30分(登校は通常通り。6年のみ8時15分)

学校関係者評価委員会を受けて

2月6日に学校関係者評価委員会(委員会の方々が学校自己評価の結果を評価することを通じて、自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、学校・家庭・地域が学校の現状と課題について共通理解を深め相互の連携を促し、学校運営の改善への協力を促進することを目的として行う)が行われました。

資料として平成26年度学校評価結果から分析した今後に向けての対応策を提示しました。学校評価結果の概要と学校関係者評価委員の方々からいただいた意見を掲載します。

★平成26年度 後期学校評価結果

(判定がAの項目は除きました)

	具体的取組	達成度		年度後半の方針・方策
		前期	後期	
学力向上	② 繰り返し指導による漢字力や計算力の定着	教職員自己評価 A 32% B 56% C 12% D 0% A+B=88% 判定 B	教職員自己評価 A 47% B 42% C 11% D 0% A+B=89% 判定 B	全校統一テストにおいて昨年度に比べ、格段に100点の割合が増えた。練習のさせ方と出題の仕方や賞賛の工夫などで向上意欲が高まったことと、朝学習やパワーアップタイムで基本的な計算や漢字練習をくり返し行ってきた成果だと思われる。現在、パワーアップタイムは10分間で完結する計算漢字を行っているが、内容についても、活用問題の導入など検討していきたい。
	③ 表現する力の育成「書くこと」	教職員自己評価 A 18% B 70% C 12% D 0% A+B=88% 判定 B	教職員自己評価 A 17% B 72% C 11% D 0% A+B=89% 判定 B	朝自習の週1回「ちょこっと作文」で書く活動を設けてきたことで、書くことに抵抗感がなくなってきた。授業中の書く場面でも、書ける児童が増えてきた。「ちょこっと作文」の各学年で出された条件やテーマを一覧表にし、良いものを取り入れられるようにしている。また、ベスト作文を全校で紹介することで、児童にも良い作品に触れられるようにしている。今後も、テーマや条件を工夫しながら、継続していきたい。
	⑥ 読書量目標値の設定と到達促進の取り組み	教職員自己評価 A 33% B 56% C 11% D 0% A+B=89% 判定 B	教職員自己評価 A 33% B 56% C 11% D 0% A+B=89% 判定 B	読書推奨の取り組みで、たくさんの本に興味を持ち、本を読む習慣が全校的についでいる。ただ、読み聞かせや朝読書などは意欲的だが、読書量の増えない児童もいる。全体的な呼びかけや取り組みに加え、個人的な働きかけを根気よくしていきたい。
	⑦ 授業におけるタイムマネジメント	教職員自己評価 A 12% B 44% C 44% D 0% A+B=56% 判定 D	教職員自己評価 A 22% B 67% C 11% D 0% A+B=89% 判定 B	適用題で学習の定着を図るという意識が高まってきた。それは、ポイントを絞った授業を心がけるようになったからである。今後も、授業の山場を意識し適用題で習熟を図れるよう、授業づくり診断表や週案を活用してねらいを達成する授業展開にしていく。
	⑨ 情報機器を活用した授業実践	教職員自己評価 A 22% B 22% C 56% D 0% A+B=44% 判定 D	教職員自己評価 A 25% B 62% C 13% D 0% A+B=87% 判定 B	教職員に向けて、情報機器(タブレットPC)を限定し、簡単な操作から始められる授業実践例を紹介したところ、「まずは使ってみる」という意識をもつことができた。各自の実践をシートに書き込み、授業実践例としてストックしたり、互いに見合ったりすることで、さらに意識が向上した。今後、授業場面での活用の場をより増やすには、PCサポーターの教材開発支援の必要がある。そのために、サポーターに伝達する際の連絡体制の見直しを図っていく。
3 健やかな体	① 早寝・早起朝食の定着	児童アンケート 1年100% 2年100% 3年 90% 4年100% 5年 86% 6年 91% 学年平均95% 判定 A	児童アンケート 1年100% 2年 95% 3年 85% 4年 88% 5年 86% 6年 82% 学年平均89% 判定 B	「健康スッキリ調査」の結果をもとに、随時睡眠について、全体・個別指導を実施している。しかし、スポーツ教室・塾、テレビ視聴等でも就寝時刻が遅くなる傾向にある。各家庭での意識にも格差があって、なかなか定着しない。繰り返して全体及び個別指導を実施しながら、「子育ては脳育て」を合い言葉に基礎的生活習慣定着の啓発を児童・保護者に行っていく。
1. 学力向上と指導力向上①④⑤⑧ 2. 豊かな心と社会性の育成①②③④⑤ 3. 健やかな体と危機管理の育成②③ 4. 開かれた学校づくりの推進①②③				すべて判定：A

※表の数値は(%)は、肯定的評価(A+B評価)です。

★学校関係者評価委員会の記録

①学力向上と教育指導力向上) 具体的項目	学校評議員からの意見	ま と め
<ul style="list-style-type: none"> ◎基本的な学習習慣の定着 ◎表現する力の育成 ◎家庭学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生のアンケートの評価は低い が、4年生が自覚しているのは良い。 ・学力調査で向上した理由は？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校研究で国語に関して三年間研究をしました。自分の考えを持ち、話し合いする場を多く設けたことが学力向上に繋がったと思います。また、補充学習での基礎学力の定着も向上の要因と思います。教師も意識を高め、上位を目指して取り組んだ成果だと思っています。
<h3>④開かれた学校づくりの推進</h3> 具体的項目 <ul style="list-style-type: none"> ◎教育活動の積極的な公開と情報発信 ◎地域・保護者と連携 ◎幼保小・小中連携 	<h3>学校評議員からの意見</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・学校便りで6年女子の仲間はずれの 記事について個人が特定されそうな 書き方であり、あまり良く思われ ないのではないか。 ・保護者に直接渡されるのであれば良 いが、子どもの目に触れると、当事 者も気にしてしまう。 ・挨拶を増やし、顔見知りが増えたら よい。 	<h3>ま と め</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・学校としてはかくしご となく、アンケートに 書かれているものを学 校便りに出させていた だきました。 ・今後、当事者の立場を 配慮して掲載してい きます。
<h3>⑤その他</h3> 具体的項目	<h3>学校評議員からの意見</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・学校での挨拶は出来ているが、校 外ではまだ十分でない。 ・学校帰りの際、地域での挨拶は少 なく感じる。地域の方とも挨拶を しっかりとしてほしい。 ・子どもから挨拶をすることで地域 の方とコミュニケーションをとる 第一歩になると思う。 ・田んぼの仕事をしていると、半分 くらいの児童が挨拶してくれる。 ・挨拶運動はとても声大きいのが、 地域の中ではあまり挨拶されない。 声も小さい。 ・どこで会ってもいつも笑顔で挨拶 してくれる子もいる。学校でも褒 めてあげてほしい。 ・アンケートのA+Bの変動はあるの か？ A+Bのパーセンテージだけでは分 らないのでは。 ・教職員アンケートは人数が少なく、 割合がすぐ変わってしまうため、 あまり重要視しても意味がないの ではないか。 ・組織力を高めるために具体的にど んなことをしているのか。 ・先生方の個性を伸ばしすぎても組 織力がなくなってしまう。組織と して方向をそろえていることが学 力向上にもつながっていると感じ る。 	<h3>ま と め</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域の方と連携 を図り、児童が地域 の方々にあいさつでき るよう指導していきます。 ・地域の方や保護者の方 が地域での子ども様 子を知らせて頂いたり、 見守ってくださり、感 謝しています。 ・今後、Aのパーセント を意識して評価してい きたく思います。 ・学校評価等の見直しな ど全職員で行っている。 ・校長の学校経営ビジョ ン実現を全職員で意識 している。 ・校務部会で話し合った ことを、職員会議で共 通理解を図って共通行 動を行っている。

※学校関係者評価委員会の皆様からは「学力向上」を中心に、学校の取組に対して様々なご示唆をいただくことができました。誠にありがとうございました。